

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20713
事業名	残地等取得管理費					
評価担当課	所 属	建)総務部 用地管理課			電話番号	011-211-2552
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	○ 全部委託	○ 補助・助成	● その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	事業用地を取得する際、取得によって残った土地(残地)は、地積過小、奥行短小や不整形等、一団の土地としての利用が難しい形状であることが多く、住居等の合理的移転先地とならない場合が多い。この場合、事業関係者は、残地以外の土地を住居等の移転先地として求めることとなるが、従前と同等の移転先地を購入し住居等を移転するためには、資金計画上、当該残地を早急に売却する必要がある。 しかし、一団の土地としての利用価値が低く、一般的な売買が見込めない土地を、事業関係者自ら売却することは容易ではなく、早期に売却できない場合は、従前地と同等な移転先を確保できず、生活再建が図れない可能性もある。このことから、当該残地についても、事業用地と合わせて起業者に買い取ってもらいたい旨の請求がなされる事例が多くなっている。
	事業内容(何を実施し)	道路・街路(河川)整備事業を円滑に推進するため、残地を「事業関係者から買取要望があったもののうち、その面積・形状等から単独利用が困難な土地で、買取りすることが事業関係者の生活再建上不可欠なものであると認められる」場合に、事業用地と併せて取得している。 取得した残地は普通財産となることから、効率的に活用するため、外柵の設置・除草等の管理を適切に行うとともに、残地取得費用の財源確保のため処分可能な残地の売払いや貸付等を行っている。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	取得した残地は可能な限り売払いや貸付け等を行い、財産の有効活用を図りたい。
	他都市の状況	公共用地の取得に伴う残地買収は各起業者が任意行為として行っており、その対応は各自治体によって異なっている。また、土地の管理についてはいずれの都市も同じ方法をとっている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	115,477 千円	うち特定財源	506,012 千円	正規職員業務量	3.5 人工
令和5年度予算額	145,652 千円	うち特定財源	145,594 千円	正規職員業務量	3.5 人工
令和5年度決算額	48,747 千円	うち特定財源	106,415 千円	正規職員業務量	3.5 人工
令和6年度予算額	150,316 千円	うち特定財源	149,768 千円	正規職員業務量	3.5 人工

指標	アウトプット活動指標1	残地買収件数				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		3件	10件	6件	13件	7件		
	↓							
	アウトカム成果指標1	残地処分件数				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		9件	5件	4件	3件	7件		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	残地買収及び処分件数ともに当初計画に対して減少となったが、事業遂行のための特定財源は残地処分等により確保されている。今後も予定買収件数を確保できるよう計画的に処分を行ってゆく。						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	保有残地について売却に向けた課題を整理し売却準備の計画を策定する。
来年度以降の方向性	保有残地について売却準備の計画に基づき売却を進めるとともに、単独利用が不可能な狭小地や不整形地などについても隣接者処分などにより積極的な処分を進めたい。